

K 1 20.4 1

43

2

凡例

一本書は明治三十三年八月發布の小學校令並に同施行規則に従ひ尋常小學校算術科兒童用に編輯したるものにして別ちて三卷とし第二學年より順次一學年に一卷を用ふ。

一本書は別に教員用書を編輯して教授上參考の資料とせり。

明治三十四年六月

目次

第一章

百位の數及び百位と十位とより成る數の加減乗除

- 一 百位のみなる數の加減 (其の一)
 - 二 百位のみなる數の加減 (其の二)
 - 三 百位のみなる數を單位のみなる數にて倍するも及び其の逆
 - 四 單位數を百位のみなる數にて倍するものと其の逆
 - 五 百位の數に十位の數を加ふること及び其の逆
 - 六 十位の數に百位の數を加ふること及び其の逆
 - 七 百位と十位とより成る數に十位の數を加減すること及び其の逆但し十位の和の上進すること
- 第二章 前章の續き
- 一 百位と十位とより成る數に百位の數を加減すること及び筆算に於ける加減の運算法
 - 二 百位の數に百位と十位との數を加ふること及び其の逆
 - 三 百位と十位とより成る數を互に加へ合はすと及び其の逆

凡例

本書は明治三十三年八月發布の小學校令並に同施行規則に従ひ尋常小學校算術科兒童用に編輯したるものにして、別ちて三卷とし、第二學年より順次一學年に一卷を用ふ。

本書は別に教員用書を編輯して、教授上参考の資料とせり。

明治三十四年六月

目次

第一章

百位の數及び百位と十位とより成る數の加減乗除

百位のみなる數の加減 (其の一)

百位のみなる數の加減 (其の二)

百位のみなる數を單位のみなる數にて倍するもの及び其の逆

四 單位數を百位のみなる數にて倍するものと其の逆

五 百位の數に十位の數を加ふること及び其の逆

六 十位の數に百位の數を加ふること及び其の逆

七 百位と十位とより成る數に十位の數を加減すること及び其の裏但十位の和の上進せざること

第二章

前章の續き

一 百位と十位とより成る數に百位の數を加減すること及び筆算に於ける加減の運算法

二 百位の數に百位と十位との數を加ふること及び其の逆

三 百位と十位とより成る數を互に加へ合はすと及び其の逆

- 四 十位の數に十位の數を加へ百位に上進するもの及び其の逆
- 五 百位と十位とより成る數と十位のみより成る數とを加へ合はすこと及び其の逆
- 六 百位と十位とより成る數を加へ合はすこと及び其の逆
- 七 十位のみなる數を單位にて乗すること及び其の逆
- 八 前課の續き

練習問題

第三章 百位の混數の加減

- 一 百位又は百位と十位とより成る數に單位の數を加ふること及び其の逆
- 二 百位の混數を百位の純數を加ふるもの及び其の逆と裏
- 三 百位の混數に百位と十位とより成る數を加ふること及び其の逆
- 四 百位と十位とより成る數に百位の混數を加ふること及び其の逆
- 五 百位の混數を加へ合はすこと及び其の逆
- 六 前課の續き

第四章 百位の混數の乗除

- 一 十位と單位とより成る數に單位を乗すること及び其の逆并に筆算に於ける乗除の運算法
- 二 單位の數に十位と單位とより成る數を乗するもの及び其の逆
- 三 百位の混數に單位の數を乗するもの及び其の逆
- 四 單位の數に百位の混數を乗するもの及び其の逆
- 五 雜題

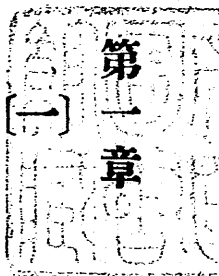
第五章 千以下なる諸數の加減乗除

- 一 十位と單位とより成る數に十位の數を乗するもの及び其の逆
- 二 十位の純數に十位の混數を乗するもの及び其の逆
- 三 十位の諸數を相乘するもの及び其の逆
- 四 前課の續き
- 五 前課の續き
- 六 雜題

目次

算術教科書 兒童用 卷二

第一章



(1) 百から五百まで、百づつじんに
かぞへよ。

(2) 五百から百まで、百づつさかさ
まにかぞへよ。

(3) つぎのかずを、日本すーじにかけ。

100
200
300
400
500

(4) つぎのかずを、さんよーすーじ
にかけ。

百、二百、三百、四百、五百、
 ⑤ 五百から千まで、百つづつじんに
 かぞへよ。又、千から五百まで百
 つづつかさまにかぞへよ。

600
700
800
900
1000

⑥ つぎのかずを日本すーじにかけ。
 のつぎのかずを、さんよーすーじ
 にかけ。

六百、七百、八百、九百、千
 ⑧ 二百尺と百尺とでいく尺か。
 ⑨ 二百尺から百尺とれば、いく尺
 のところか。

⑩ 二百尺と二百尺とでいく尺か。
 ⑪ 四百尺と二百尺とでいく尺か。
 ⑫ 六百尺から二百尺とれば、いく
 尺のところか。

⑬ こひ五百びき、ふな二百びき、あ
 はせていくひきか。
 ⑭ こひはふなより何びきおほき
 か。

⑮ つぎのしきを、かんじよーせよ。

500+100
600+200
800-200
600+400
1000-200

(二)

(1) 米三百俵、麥二百俵、豆百俵ある。

米と豆とで何俵か。

米と麥とで、何俵か。

米と麥と豆とで、何俵か。

(2) 米麥豆合せて千俵ある。

麥三百俵を賣れば、のこり何俵か。

俵か。

また、米三百俵を賣れば、のこ

り何俵か。

また豆三百俵を賣れば、のこ

り何俵か。

(3) 六百人と四百人とで、何人か。

(4) 六百人のうち、男が四百人なれ

ば、女が何人か。

(5) 四百人のうち、女が百人なれば

男が何人か。

(6) まへからのもんだいで、男はみ

なで何人か。また、女はみなで何

人か。また、男は女より何人多い

か。

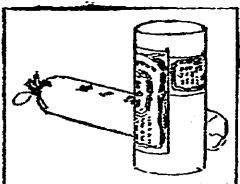
(7) 上茶も、なみ茶も、五

百斤つつある。みな

で何斤か。

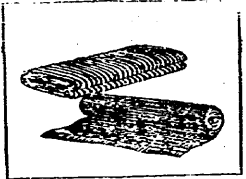
(8) つぎのしきを、かん

じよせよ。



1000-500
 500-300
 200+500
 700-400
 300+500

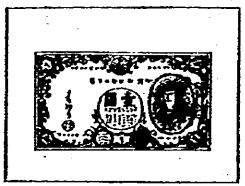
(9) たんもの四百反と
 六百たんとでいく
 反か。



(10) つぎのしきをか
 んじよせよ。

1000-800
 200+700
 900-600
 1000-300
 1000-700

(三) 一圓八百錢



(1) 五圓は二錢どーか
 でいくまいか。
 (2) 一圓は五厘どーか
 でいくまいか。
 (3) 二圓は五厘どーか
 でいくまいか。

(4) 一圓は二錢どーか
 でいくまいか。又二圓
 ならばいくまいか。
 (5) 四圓は五厘どーか
 でいくまいか。又五圓
 ならばいくまいか。
 (6) 八圓は二錢どーか
 でいくまいか。又十圓
 ならばいくまいか。
 (7) つぎのしきをか
 んじよせよ。

$100 \times 2 + 3$ $200 \times 3 + 3$

(8) もめんは二百反、きぬはもめんの三倍、きぬもめん合せて何反か。

(9) きぬだけ半ふんうったのこりみなでいく反か。

(10) その上もめん六百反、きぬ百反かひ入れた。めいくいく反になつたか。

(11) つぎのしきをかんじーせよ。

$200 \times 2 + 4$
 $300 \times 2 + 6$

(12) 上茶二百斤、つぎのは上茶の五倍である。いく斤であるか。

(13) つぎのを二百斤うったのこり何斤か。

(14) また、そののこりの四つわりの一つをうった。そのうたのは何斤か。

(四)

(1) つぎのしきをかんじーせよ。

2×100
 3×100
 6×100
 $300 \div 100$
 $500 \div 100$
 $700 \div 100$

(2) たまご大は四錢、中は三錢、小は

二錢である。大二百入一はこのねだんいくらか。

(3) 右の中二百入一はこのねだんいくらか。小二百入一はこのいくらか。

(4) 一はと二百入のたまと六圓とせば、たまと一ついくらか。

(5) ふで三百ついは何本か。

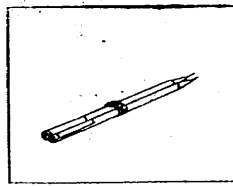
一對ハ二箇

(6) これを三百本つ

はここに入れるとき

はいくはといるか。

(7) 一つい三錢つとすれば、三百



ついでいくらか。

(8) 三百つい九圓なれば、一ついくらか。又、一本いくらか。

(9) 反物四百びきは幾反なるか。

一匹ハ二反

(10) 四百びきの代八百圓ならば、一匹の代いくらか。

(11) 一反一圓の反もの、四百びきの代いくらか。

〔五〕

(1) 百から二百まで、十づつじんにかぞへよ。又、さかさまにかぞへよ。

(2) 三百から四百まで、十つづつじんにかぞへよ。又、さかさまにかぞへよ。

(3) 三百に二十たせ。四百に二十たせ。

(4) 三百二十から二十とれ。四百二十から二十とれ。

(5) つぎのすゝをよめ。

530
740
950
260
790

(6) つぎのしきを、かんじいせよ。

600+30
630-30
800+40
840-40
100+60
160-60

(7) つぎのしきを、さんよーすゝいでかけ。

三百七十、四百七十、
五百八十、八百八十、
九百九十。

(8) さとー六百斤ある。そのうへ八十斤かひ入れた。みなで何斤か。
(9) 六百八十斤のうち、八十斤をうれば、のこりいく斤か。

(10) つぎのしきを、かんじいせよ。

600+30
630-30
200+60
260-60

(1) つぎのかずをさんよーすーじ
でかけ。

百十、二百十、二百九十、
三百六十、五百五十、
七百七十、

(12) 五百から六百まで、二十づつじ
んにかぞへよ。

[六]

(1) 百に十たせばいくつか。十に百
たせばいくつか。

(2) つぎのしきをかんどーせよ。

40+200
240-200
50+300
350-300
80+400
480-400

(3) つぎのかずをさんよーすーじ
でかけ。

一、十、十一、百十、五、
五十、五百、五百五十八
八十、八百、八百八十

(4) 布四十反、布三百匹、合せていく
匹か。

(5) 布四百八十反ときぬ二百匹と
くらべよ。どちらがいくたん多
いか。

[七]

(1) 百五十に二十たせばいくつか。

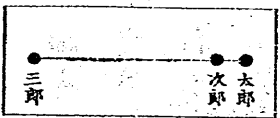
② 百七十圓から二十圓とれば、の
こりいくらか。

③ 三百五十圓で買ったものをうって、
三十圓もうけた。うったねだんを
とよ。

④ 三百八十圓でうって、三十圓のと
くがあった。もとのねだんいくら
か。

⑤ つぎのしきをかんじよせよ。
 $54 + 4$ $58 - 4$

⑥ 太郎と次郎とのあひだは五十
けん、太郎と三郎とのあひだは
六百四十間、次郎と三郎とのあ



ひだなにほどあるか。
の太郎と次郎とのあひだ
が六十九けんになった。太
郎と三郎のあひだにく
らべてみよ。

⑦ つぎのしきをかんじよせよ。

$60 + 730$ $790 - 730$
 $40 + 920$ $960 - 920$

第二章

[1]

① 兄の尻の糸は二百四十尺、弟の
は百五十尺、兄の尻に百尺たし、弟

のに二百尺たした。めいめいの糸のながさどれほどになりたか。

(2) この糸で風をあげた。糸がきれて、風がとんだ。糸の残りは、兄のは百尺、弟のは二百尺であった。二人のなくした糸のながさめいめいいく尺か。

(3) 一月に三百五十圓、二月に二百圓もうけた。三月に百圓そろした。さしひきもうかった金はいくらか。

かんじーのしかた。

$$\begin{array}{r} 350 \\ 200 \\ \hline 550 \end{array} \qquad \begin{array}{r} 550 \\ 100 \\ \hline 450 \end{array} \qquad \text{答} \qquad \text{四百五十圓}$$

(4) 四月に四百六十圓もうけ、五月に二百圓そろし、六月に三百圓もうけた。このかんじーいくらかんじーのしかた。

$$\begin{array}{r} 460 \\ 200 \\ \hline 260 \end{array} \qquad \begin{array}{r} 260 \\ 300 \\ \hline 560 \end{array} \qquad \text{答もうけ} \qquad \text{五百六十圓}$$

(5) つぎのしきをかんじーせよ。

$$250+200-300$$

$$560-200+300$$

$$120+100+200+300$$

$$720-100-200-300$$

⑥ 二百四十斤と七百斤と合せて何斤か。

⑦ 940-600
940-600-200

かんじーのしかた。

940	
<u>600</u>	
340	
<u>200</u>	
140	
	答
	140

[二]

(1) たび人百里はあるき、二百二十里はきし。にのた。このたび何里なるか。

(2) 又かへりには、百二十里はきし。にて、のこりはみなあるいた。あ

るいた里すーいく里か。

(3) 六百八十圓を二人にわけるに、龜吉は三百八十圓をとり、のこりは竹松がとった。竹松のはいくらか。

(4) つぎのしきをかんじーせよ。

200+240 440-240

400+280 680-280

800+150 950-150

(5) 東京と大阪とのあひだは百五十里である。東京から大阪へゆくのに百里ゆいた。まだ何里ゆかねばならぬか。

三

(1) 三圓二十錢と一圓二十錢との和はいくらか。

(2) 四圓六十錢から一圓二十錢ひけば、その差はいくらか。

(3) 反もの一反をかって、五圓札一まいと二十錢きんか三まいとをばらした。その反ものいくらか。

(4) つぎのしきをかんどせよ。

$$500+60+360$$

$$630+240$$

$$870-240$$

(5) 三圓四十錢のかひものをした

のに、まだ五圓四十錢ある。はじめていく圓もつてゐたのか。

(6) 一斤につき、上茶は一圓二十錢、中は一圓五十錢、下は一圓二十錢である。今この三いろを一斤づつかふときの代みなでいくらか。

のつぎのしきをかんどせよ。

$$220+550 \quad 770-550$$

$$210+670 \quad 880-670$$

$$230+420-310$$

$$120+860-740$$

(8) どふくやがひるまへに三百二

十反うりひるから二百四十反
 よる三十反うた。みなで何反か。
 ⑨ 木綿四百五十匹、きぬ二百三十
 匹ある。すべていく匹か。又、も
 めんと絹との差何匹か。

⑩ 一反六圓五十錢のきぬ、一反一
 圓三十錢のもめん、一反づつ買
 へば、みなでいくらなるか。又、
 二しなのねだんの差いくらか。

〔四〕

(1) 屋根に九十羽、庭に二十羽のは
 とがゐる。合せてなん羽なるか。
 (2) 右のうち三十羽飛び去って、四十

羽まひ下りた。つとーなん羽に
 なったか。

(3) 屋根に七十羽、庭に六十羽のは
 とがゐる。やねのが五十羽庭に
 下りた。庭のはと何羽となったか。
 (4) 其の庭のはと九十羽飛んで屋
 根に上った。庭のはと何羽か。又、
 屋根のはと何羽か。

(5) つぎのしきを、かんじしよ。
 $9+2$
 $90+20$
 $110-20$
 $110-90$
 $6+7$
 $60+70$
 $130-60$
 $130-70$

(6) 土手に松の木五十本と杉の木
 八十本とある。みなでいく本か。

(7) 大風があつて、その土手の木七十本たほれたの、とりいく本になつたか。

(8) それで又八十本うゑつけた。今は何本となつたか。

[五]

(1) 十九に二をたせ。

(2) 百九十に二十をたせ。

(3) つぎのしきを、かんじよせよ。

210-20

190+120

310-120

(4) つぎのしきを、かんじよせよ。

290+220
510-220

280+30
280+330

310-30
610-330

(5) 酒二百六十樽を賣りた。また六十樽のことである。はじめいく樽もちてゐたか。

(6) つぎのしきを、かんじよせよ。

260+460

720-460

(7) つぎのしきを、かんじよせよ。

5+7
150+70
150+270
12-7
220-70
420-270

(8) こちらの倉に七十俵、あちらの

倉に三百七十俵の米がある。みなでいく俵か。

⑨ そのうち三百七俵うたの。こりいく俵か。

⑩ 東の倉に四百七十俵、西のに三百七十俵ある。みなでいく俵か。

(1) 7+8 70+180

(2) 五百七十圓と百八十圓とでいく圓か。

(3) 七百五十圓から百八十圓とればいく圓か。

(4) つぎのしきを、かんじょせよ。

80+80
80+180
380+280
660-280

(15) 茶五百五十斤ある上に、又、百九十斤買ひ足した。幾斤となったか。

(16) その中百九十斤うりはらったの。こり幾斤となったか。

[六]

二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四	二二四
二六十二	二七十四	二八十六	二九十八	三〇九	三二一	三三三	三四五	三五七	三六九	三八一	三九三	四〇五	四一七
三七二十一	三八二十四	三九二十七	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇
四四十六	四五二十	四六二十四	四七二十八	四八三十二	四九三十六	五〇四十	五一四十八	五二九十二	五四三十六	五五八十	五六二十四	五七六十八	五九一二

五五二十五	五六三十	五七三十五
五八四十	五九四十五	

- (1) 六十の二倍はいくつか。
百二十を二でわれ。
- (2) 七十に二をかけよ。
百四十を二でわれ。
- (3) 八十まいの本二さつあるこの
かみかすいくまいか。
- (4) 百八十五まいのかみを二人にわ
けるときは一人のわけまへ何
まいか。

- (5) つぎのしきをかんどせよ。
 40×3
 $120 \div 3$
 60×3
 $180 \div 3$
 70×3
 $210 \div 3$
 80×3
 $240 \div 3$

- (6) きぬ一尺四十錢のもの四尺を
かはばそのねだんいくらか。
- (7) 二圓で白もめん四反ある。され
ば一反のねだんいくらか。
- (8) 八十錢を四倍せよ。
- (9) 三圓二十錢を四つにおなじく
分けよ。
- (10) つぎのしきをかんどせよ。

- 30×5
- $150 \div 5$
- 50×5
- $250 \div 5$
- 60×5
- $300 \div 5$
- 80×5
- $400 \div 5$

[七]

六六三十六	六七四十二	六八四十八
六九五十四	七七四十九	七八五十六

七九六十三	八八六十四	八九七十二
九九八十一		

- (1) 四十を六倍せよ。
- (2) 二百四十箇のなしを六つのか
とに入る。一かどにいくつづつ
入るか。
- (3) なし五十箇入りのほと六つあ
る。このなしのかずいくつか。
- (4) 三百を六でわれ。
- (5) つぎのしきをかんにせよ。
 60×6 $360 \div 6$
 80×6 $480 \div 6$
- (6) 四十の七倍はいくつか。

三百五十圓でちりめん七匹か。
た。一匹のねだんをとふ。

- (8) つぎのしきをかんにせよ。
 70×7 $490 \div 7$
 90×7 $630 \div 7$
- (9) 八とつで一圓六十錢の本、一と
つでいくらか。
- (10) 三圓二十錢を八でわれ。
- (11) つぎのしきをかんにせよ。
 80×8 $640 \div 8$
 90×8 $720 \div 8$
- (12) つぎのしきをかんにせよ。

20×9
180÷9
40×9
360÷9
60×9
540÷9
80×9
720÷9

(13) 高等科のせいとは九十人、尋常科のはその九倍。されば何人か。

[八]

(1) つぎのしきを、かんじ、せよ。

$50+30+250$ $750-80-120$

$350+70+240$ $70\times 6+4$

(2) 上茶百二十斤、中茶百九十斤、下茶三百七十斤ある。みなでいく斤か。

(3) 右のうち、上茶三十斤、中茶七十斤、下茶百九十斤をうった。みなで

いく斤うったか。

(4) 右三いろの茶ののこりをとふ。

(5) さとー四十斤入のおけ、九つある。みなでいく斤か。

(6) その六分一をうった。のこりいく斤か。

(7) まつ八十本、すぎは松の九ばい。杉のかず何本か。

(8) 右の松を四分一、さきり、杉を八分一、さきり出した。のこり、それいく本か。

(9) 松四百五十本、杉百八十本、ひのき二百九十本とて何本か。

(10) 九百二十圓のうち、三百四十圓と百九十圓をとれば、のこりいく圓か。

(11) つぎのしきを、かんじよせよ。

$$270 + 560 - 350$$

$$70 \times 5 + 150$$

$$720 + 9 - 40$$

(12) ひとりには八十圓をもち、一人はその五ばいをもつ。みな合せていく圓か。

(13) 四百匹のきぬがある。そのうち三百五十反をうった。のこりいく反なるか。

(14) 切手四十まいとはがきいくらかと合せて、二百四十まいある。はがきはなんまいか。また、はがきは切手の何倍か。

(15) 父は三百圓をぎんこーにあづけ、母は五十圓をゆうびんきくにあづけた。みなでいく圓か。

(16) 右のうち、七十圓をとり出した。のこりいくらか。

(17) まい月八十錢づつ、半ねんちききんすれば、いく圓となるか。

(18) 太郎は九か月のあいだ、まい月二十錢づつちきんした。いくらか。

のちきんとしたか。
⑭右のうち本代五十錢かみふで代二十錢をとり出した。まだいくらあづけてあるか。

第三章

〔一〕

- ①二百五十から三百まで十づゝじんにかぞへよ。
- ②百から百十までじんに又さかさまにかぞへよ。
- ③百十から百五十までじんに又さかさまにかぞへよ。

④つぎのすゝじをさんよゝすゝじにかけ。

百五、百十二、百四十八、二百三十五、二百七十六、二百九十一、

⑤三百に三たせばいくつか。

⑥三百十から三百五十までじんにかぞへよ。

⑦四百から三百八十までさかさまにかぞへよ。

⑧四百まいから四百八十まいまでの紙を計へよ。

⑨つぎのをさんよゝすゝじでか

け。

- 三百七、三百二十八、三百四十六、三百七十三、四百五、四百八十九、四百九十四、
- (10) 五百から六百まで、十づゝかぞへよ。
- (11) 六百から六百六十まで、かぞへよ。

(12) つぎのすゝじをよめ。

507 512 536 549 608 629 646 684

- (13) 七百匹から七百五十匹までかぞへよ。又、さかさまにかぞへよ。
- (14) 八百から八百五十四まで、かぞへよ。

へよ。

(15) つぎのかずを、さんよゝすゝじでかけ。

七百八、七百六十二、八百二十二、八百三十三、八百六十九、九百四、九百四十七、九百八十四、千、

[二]

(1) 米二斗三升五合ある上に、二斗かひ入れた。みなでどれほどと なったか。

(2) 右のうち三斗をつひやしたの どれほどか。

(3) きへい三百二十五、
ほへい五百ある。み
なでいく人が。

(4) 右のうち六百人だ



け出ばつしたのころはいく人
か。

(5) 馬と牛と合せて五百六十四あ
る。牛は三百六十四なれば馬は
いくひきか。

(6) のちに馬を四百六十四かひ入
れた。牛のかずよりいくつ多
な、たか。

△ ワカラヌカズノシルシ

のつぎのしきをかんどせよ。

$$500+428=\triangle$$

$$928-328=\triangle$$

$$600+356=\triangle$$

$$956-256=\triangle$$

(8) こひ二百ひき、ふな三百五十二
ひき、きんぎ、五百二十五ひきあ
る。こひとふなとでいくひきか。

こひときんぎとでは

ふなとこひとでは

きんぎはこひよりいくつ多
いか。

三

(1) つぎのしきをかんじよせよ。

234+120 354-120

342+220 562-220

346+230 576-230

(2) 尋常科は四百五十七人、高等科は三百四十人、合せていく人か。又、そのちがひ何人か。

(3) つぎのせいとのかず、みなでいく人か。

尋常科 五百三十二人

高等科 四百五十人

女が四百五十人、男がいく人か。

三

(4) 一つの村の人かす九百八十人となり、村の人かす三百六十人、どちらが何人多いか。

(5) つぎのしきをかんじよせよ。

285+130 415-180

374+240 614-240

(6) 米、四斗七升六合と三斗五升とでいくらか。

(7) 八斗二升六合から三斗五升ついやせば、のこりいくらか。

(8) 米四斗六升一合と、麥四斗六升と合せてどれほどか。

(9) 兄の扇の糸三丈三尺六寸、弟の

は一丈八尺。合せていくらか。

(10) 右の兄のと弟のとのがさのちがひどれほどか。

(11) 六十五丈四尺のうち十九丈とればのこりいくらか。

〔四〕

(1) 百二十に二百四十三をたせばいくつか。

(2) 三百六十三から百二十とれ。

(3) 二圓三十錢と三圓二十六錢と合せていくらか。

(4) 八十七錢八厘のうち五十三錢八厘の買物をしたのこりいく

らあるか。

(5) つぎのしきをかんどーせよ。

$$430 + 564 \quad 994 - 564$$

$$440 + 427 \quad 867 - 427$$

(6) 太郎のうちから次郎のうちまで九百七十二間ある。又太郎のうちから三郎のうちまで、太郎と二郎とのへだたりより四百三十二間近い。それで何間かの學校まで、太郎のうちからは九百九十三間、次郎のうちからは三百六十三間ある。どちらがどれだけ近いか。

⑧ つぎのしきをかんどーせよ。

$720+274$ $994-274$

$810+155$ $965-155$

⑨ ぼへい百二十人と百八十七人とせんそーにでた。みなで何人か。

⑩ 右のうちうちじにきすなどしたもの百八十七人あった。ぶなんのものはいく人か。

⑪ $240+373=\Delta$

$613-373=\Delta$

$350+464=\Delta$

$814-464=\Delta$

⑫ つぎのしきをかんどーせよ。

$460+256$ $460-256$

$580+247$ $827-247$

$680+132$ $812-132$

$790+125$ $915-125$

五

① 百二十から百三十まで、じんににかぞへよ。

② 三百から四百まで、十つつじんににかぞへよ。

③ つぎのしきをかんどーせよ。

$123+131$ $264-131$

$234+142$ $376-142$

345+233

345-233

(4) 炭四百五十二俵と三百三十五俵とでいく俵か。



(5) 七百八十七俵のうち三百三十五俵つかったのこりいく俵か。

(6) 白たび百五十五足、
こんたび百二十九
足あるみなでいく
足か。



(7) 下駄五百八十三足のうち二百四十七足は男のもの、ほかはみな女のものである。女のものい

く足か。

(8) つぎのしきをかんどせよ。

327+356

683-356

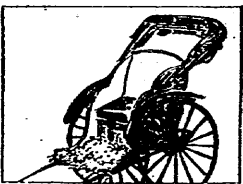
428+465

893-465

(9) て、ぼー五百三十七ちよーと三百五十四ちよーとで、いくちよーか。

(10) 墨八百八十一ちよーのうち、二百四十三ちよーをつかへばのこりいくちよーか。

(11) 人力車、一人のり七百四十九り、二人のり百三十三り、あるみなで何り。



か。

(12) 八百八十一り、ののうち二人の
りは百三十二り、であとは一
人のりである。そのかすをとふ。

足 輻

[六]

(1) 百二十八と百九十二との和は
いくつか。

(2) 三百二十から百九十二とれ。

(3) つぎのしきをかんじせよ。

$$238+194 \quad 432-194$$

$$237+184 \quad 421-184$$

(4) 地面を三百五十七圓で、家を二

百八十五圓でかつた。みなでいく
圓か。

(5) 六圓四十二錢のうち二圓八十
五錢をつかつた。のこりいくらか。

(6) て、ぼーをうつこと、八百三十ば
つのうち三百七十ばつ、まとい
あつた。あたらぬたまいくつか。
の九百四十三箇のたまのうち三
百六十箇ついでした。のこりい
く箇か。

(8) つぎのしきをかんじせよ。

$$574+879 \quad 975-379$$

$$672+279 \quad 951-279$$

$485+357$

$842-357$

⑥ つぎのしきをかんじーせよ。

$593+347$

$940-347$

$674+257$

$931-257$

$675+166$

$841-166$

第四章

[一]

(1) つぎのわけをいへまたかんじーせよ。

42×3

$126 \div 3$

46×3

$138 \div 3$

26×4

$104 \div 4$

かんじーのしかた。

$$\begin{array}{r} \text{(一)} \\ 42 \\ \underline{3} \\ 120 \\ \underline{6} \\ 126 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(二)} \\ 42 \\ \underline{3} \\ 126 \end{array}$$

はじめには(一)のよーにする。なれたら(二)のよーにする。

$$\begin{array}{r} \text{(一)} \\ 3)126(40+2 \\ \underline{12} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(二)} \\ 3)126(42 \\ \underline{12} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$

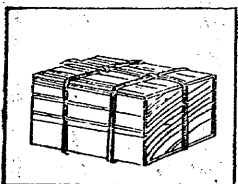
まへにぬなじ。

(2) みかん四十七箇入りのかと四つの中にあるみかんのかずいくつか。

(3) りんと二百三十かを五人でかつた。一人いくかとのわりか。

(4) みかん一箱六十八錢である。五はこの代金いくらか。

(5) つぎのしきをかんだじよせよ。



$$35 \times 6$$

$$210 \div 6$$

$$53 \times 6$$

$$318 \div 6$$

$$24 \times 7$$

$$168 \div 7$$

(6) 一斤五十七錢の茶七斤でいくらか。

(7) 三圓九十九錢で七斤の茶をかた一斤の代いくらか。

(8) 四十五を八倍せよ。

三百六十を八でわれ。

(9) つぎのしきをかんだじよせよ。

$$54 \times 9$$

$$486 \div 9$$

$$76 \times 9$$

$$684 \div 9$$

(10) はがき(つーじよ)のはがき(八まい)のねだんいくらか。

(11) 切手七まいをかって十錢五厘だした。一まいいくらの切手か。

(12) 一まい一錢五厘の切手でちぎんするにも一九まいはれり。何錢のちぎんか。



(1) 二を五十六倍すればいくつか。
(2) 百十二のうち五十六がいく

つあるか。

③ つぎのしきをかんにせよ。

$$\begin{array}{r} 3 \times 63 \\ 189 + 63 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \times 67 \\ 201 + 67 \end{array}$$

かんにせよのしかた。

$$\begin{array}{r} 3 \\ 63 \\ \hline 189 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 63 \overline{)189} \\ \underline{189} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(一)} \\ 3 \\ \underline{67} \\ 21 \\ \underline{18} \\ 201 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \text{(二)} \\ 3 \\ \underline{67} \\ 201 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 3 \overline{)201} \\ \underline{18} \\ 21 \\ \underline{21} \\ 0 \end{array}$$

④ 一反四圓の反もの七十八反にていくらか。

⑤ 三圓十二錢で、一さつ七十八錢のしきついくさつかふことできるか。

⑥ つぎのしきをかんにせよ。

$$\begin{array}{r} 5 \times 85 \\ 425 + 85 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 5 \times 86 \\ 430 + 86 \end{array}$$

の七十六間はいく尺か。

⑧ 四百五十六尺のうち、七十六尺がいくつあるか。

⑨ つぎのしきをかんにせよ。

$$\begin{array}{r} 7 \times 67 \\ 469 + 67 \end{array}$$

$$7 \times 64 = 448 + 64$$

(10) 茶八斤づゝ入れたふくる五十三個の茶はいく斤か。

(11) 四百二十四斤を五でわれ。

$$(12) \quad 9 \times 49 = \Delta \quad 441 + 49 = \Delta$$

$$9 \times 42 = \Delta \quad 378 + 42 = \Delta$$

三

(1) 一反二圓三十一錢の布二反でいくらか。

(2) 四圓六十二錢で、かなきん二匹かった。一匹の代金いくらか。
かんじょーのしかた。

$$\begin{array}{r} 231 \\ \underline{2} \\ 462 \end{array}$$

$$2)462(231 \\ \underline{4} \quad \quad \quad \\ 6 \quad \quad \quad \\ \underline{6} \quad \quad \quad \\ 2 \quad \quad \quad \\ \underline{2} \quad \quad \quad \\ 0$$

(3) つぎのしきをかんじょーせよ。

$$125 \times 2 = 250 + 2$$

$$428 \times 2 = 856 + 2$$

(4) 一斤十二錢三厘のさと一三斤のねだん、いくらか。

一斤八百六十匁

一貫目八千匁

(5) 三圓六十九錢で、さと一三貫目かった。一貫目の代金いくらか。
(6) つぎのしきを、かんじょーせよ。

$$235 \times 3 \quad 705 + 3$$

$$318 \times 3 \quad 954 + 3$$

の一段百二十五圓の地面、四段にていく圓か。

⑧ 九百五十二圓で山林四町をかけた、一町何圓か。

一町八十段

⑨ つぎのしきを、かんじよせよ。

$$148 \times 5 \quad 740 + 5$$

$$167 \times 5 \quad 835 + 5$$

⑩ 九百十二間の長さのなはを、六つにおなじくきれば、一すじいく間になるか。

⑪ 花子のうちから學校まで、百二十五間あり。きくののうちから學校までは、花子からのに六倍す。いく間なるか。

⑫ つぎのしきを、かんじよせよ。

$$125 \times 7 \quad 875 + 7$$

$$121 \times 8 \quad 968 + 8$$

(四)

① 二百四十八のうち、百二十四が、いくつあるか。

② せいと二百二十三人に、めいめいふで二本つつやれば、何本いるか。

かんじょーのしかた。

$$\begin{array}{r}
 124)248(2 \\
 \underline{248} \\
 0 \\
 \\
 223 \\
 \underline{2} \\
 446
 \end{array}$$

③ つぎのしきをかんじょーせよ。

$$2 \times 324 = 648 + 324$$

$$2 \times 425 = 850 + 425$$

④ 一圓で三斤の茶、二百三十五圓のをかひ入れた。みなで何斤か。

⑤ 七百五斤の茶を、二百三十五斤づつはこにいれた。このはとかおいくつか。

⑥ つぎのしきをかんじょーせよ。

$$3 \times 318 = 954 + 318$$

$$3 \times 325 = 975 + 325$$

⑦ 米一俵を四斗とせば、二百二十五俵は何斗か。

⑧ 九百俵を二百二十五人が、おなじよーに分けるときは、一人いく俵づつにあたるか。

⑨ つぎのしきをかんじょーせよ。

$$5 \times 148 = 740 + 148$$

$$5 \times 167 = 835 + 167$$

⑩ 百二十五間はいく尺か。

⑪ 七百五十尺は百二十五尺のいく倍か。

(12) 百二十五週は何日か。

一週八七日

(13) つぎのしきをかんどーせよ。

$$7 \times 125 \quad 875 + 125$$

$$8 \times 121 \quad 968 + 121$$

〔五〕

(1) 三いろの茶、上は一斤九十五錢、中は上より十二錢五厘やすく、下は中より十五錢やすし。下一斤何錢か。

(2) あきうどが一月に二百三十五圓、二月に百八十圓、三月に二百五十八圓もうけた。みなでいく

らもうけたか。

(3) つぎのしきをかんどーせよ。

$$258 + 315 - 516 = \triangle$$

$$625 + 139 - 588 = \triangle$$

$$125 + 316 - 222 = \triangle$$

(4) 米三百五十八俵と、むぎ二百八十五俵とあるうち、米とむぎとをせて四百六十六俵うった。のとりすべていく俵か。

(5) まい日一圓十二錢のちんでは、たらく大工が七日のあひだやすまずはたらけば、いくらになるか。

⑥今一人の大工が八日のあひたに九圓四十四錢ちんとした。一日のちんいくらか。

(7) $89 \times 8 - 423 = \triangle$

$82 \times 9 - 514 = \triangle$

$99 \times 7 - 555 = \triangle$

⑧きぬ一尺五十八錢つむぎ一尺三十五錢とも九尺つつかつた。みなでかねいくらになるか。

⑨二百五十六尺と四百八十二尺と合せばいく尺となるか。

⑩まい月二十三錢五厘つつ切手ちぎんする子は、四か月にいく

らちぎんするか。

(11)お竹は五か月に八十三錢五厘ちぎんした。一か月にいくらか。

(12)はがき(つーじょ)六枚、三錢切手五枚とで、いくらになるか。

第五章

[一]

(1)一度に二十四圓つつ、十度ちぎんした。みなでいく圓になりたか。

(2)二百四十圓を、十度にわけてちぎんするときは、一度にいく圓

つつのわりにあたるか。

(3) 一度に十圓つつちぎんして、四百五十圓になった。何度ちぎんしたのか。

(4) つぎのしきをかんばんせよ。

$$25 \times 20 \quad 500 \div 20$$

$$36 \times 20 \quad 720 \div 20$$

(5) 一足十三錢のくつたび三十足のねだんいくらか。

(6) 五圓四十錢で豆三升をかった。この豆一升何錢か。

(7) つぎのしきをかんばんせよ。

$$21 \times 30 \quad 630 \div 30$$

$$27 \times 30 \quad 720 \div 30$$

$$15 \times 40 \quad 600 \div 40$$

(8) 千を四十にてわれ。

(9) 五十か月に七百圓をたくはへたる人あり。一か月にいく圓つつたくはへしわりあひなるか。

(10) 一人につき十六錢つつだせば、五十人にていかほどとなるか。

(11) 十五の六十倍はいくつか。

(12) 九百間は何町なるか。

一町八六十間

(13) つぎのしきをかんばんせよ。

$$14 \times 70$$

$$980 \div 70$$

$$12 \times 80$$

$$960 \div 80$$

$$11 \times 90$$

$$990 \div 90$$

(一)

- (1) 車一輛に米十俵つんだもの四十九輛ある。この米何俵か。
- (2) 六百四十を六十四でわれ。
- (3) かみ三百六十まいを十八人に分けば、一人いくじょうつとなるか。
- (4) かみ四百八十まいを一人に二十四まいづつやれば、いく人にやることできるか。
- (5) つぎのしきをかんどせよ。

$$30 \times 15$$

$$450 \div 15$$

$$20 \times 28$$

$$540 \div 28$$

- (6) 山にある松は四十本、杉はその二十五倍である。杉何本かのひのきは千本、松はその二十五分の一である。松何本か。
- (8) つぎのしきをかんどせよ。

$$50 \times 15$$

$$750 \div 15$$

$$60 \times 14$$

$$840 \div 14$$
- (9) 九百十人を十三組にわけば、一組いく人となるか。
- (10) 九百六十人を十二そーのふねに、人かすおなじくのせるとき

は一そーに何人づつとなるか。

〔三〕

(1) 一斤十二錢のぶたにく、十二斤でいくらか。

(2) 一圓四十四錢でぶたにく十二斤をかった。一斤のね、いく錢か。かんじょーのしかた。

$$\begin{array}{r} 12 \\ \underline{12} \\ 24 \\ \underline{12} \\ 144 \end{array} \quad \begin{array}{r} 12 \\ \underline{12} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$$

12)144(12

(3) つぎのしきをかんじょーせよ。

$$\begin{array}{l} 16 \times 14 \\ 24 \times 15 \end{array} \quad \begin{array}{l} 25 \times 14 \\ 36 \times 15 \end{array}$$

(4) つぎのしきをかんじょーせよ。

$$\begin{array}{l} 224 + 14 \\ 360 + 15 \end{array} \quad \begin{array}{l} 250 + 14 \\ 540 + 15 \end{array}$$

(5) 一はこに卵三十二個入。てある。このはこ十八個にある卵いく個か。

(6) 卵十八個が五十七錢六厘である。卵一個のね、何ほどか。

のつぎのしきをかんじょーせよ。

$$\begin{array}{l} 13 \times 23 \\ 18 \times 24 \\ \hline 810 + 18 \\ 368 + 23 \end{array} \quad \begin{array}{l} 16 \times 23 \\ 21 \times 24 \\ \hline 229 + 23 \\ 432 + 24 \end{array}$$

504+24

- (8) 一たる、二斗五升入の油、二十七たるでいく升のあふらあるか。
- (9) 六斗七升五合を二十七瓶にひとしくわけた。一瓶にいくらか。
- (10) つぎのしきをかんどーせよ。

28×29 812+29

31×29 899+29

[四]

- (1) 一つのふくろに、ふで二十三本入っている。このふくろ三十二で、ふでいく本入っているか。

- (2) 石筆七百三十六本を三十二の

ふくろに、おなじよーに入る。ふくろにいく本はいっているか。

- (3) つぎのしきをかんどーせよ。

15×34 510+34

25×34 850+34

- (4) 一升十三錢のあつき、三斗五升のあたひなにほどか。

- (5) 八百四十圓で、上等の反物三十疋ひきかた。一匹のねだん何程か。

- (6) つぎのしきをかんどーせよ。

18×38 26×38

15×43 22×43

684+38

988+38

645+43

946+43

⑦ えんびつ四十五ダースはいく本か。

⑧ 六圓九十錢にて、かすり四丈六尺をかった。一尺のねだんをとふ。

⑨ つぎのしきをかんどせよ。

18×46
828÷46

13×47
611÷47

16×47
752÷47

[五]

(1) 一日に十六錢づつ、五十二日ちぎんしたかねみなでいくらに

なるか。

(2) まい日五十二錢づつつかへば八圓三十二錢にて、いく日のあひだつかはるるか。

(3) えんびつ五十四ダースはいく本か。

(4) つぎのしきをかんどせよ。

16×54

864÷54

12×64

768÷64

(5) 一びき十五圓のかひき六十四ひきのあたひいくらか。

(6) ツメ六十五ちちが七圓十五錢である。すみちちいくら錢か。

684+38 988+38

645+43 946+43

のえんびつ四十五ダースはいく本か。

⑧六圓九十錢にて、かすり四丈六尺をかた。一尺のねだんをとふ。

⑨つぎのしきを、かんじいせよ。

18×46	16×47
828÷46	752÷47
13×47	
611÷47	

〔五〕

(1)一日に十六錢づつ、五十二日ちぎんしたかね、みなでいくらに

なるか。

(2)まい日五十二錢づつつかへば八圓三十二錢にて、いく日のあひだつかはるるか。

(3)えんびつ五十四ダースはいく本か。

(4)つぎのしきを、かんじいせよ。

16×54	864÷54
12×64	768÷64

(5)一びき十五圓のかひき六十四ひきのあたひいくらか。

(6)すみ六十五ちが、七圓十五錢である。すみ一ちがいく錢か。

のつぎのしきをかんどーせよ。

910+65

12×72 936+72

12×75 900+75

⑧ 一日に十一時間うつはたらくこと、八十四日間なら、すべて幾時であるか。

⑨ 九百二十四時間は何日にあたるか。

一日八二十四時

⑩ つぎのしきをかんどーせよ。

924+84

11×85 935+85

11×86 946+86

六

(1) 毎日米二升五合うつつかへば十五日間に何程つかふか。

(2) 米はむぎより八斗五升多い、麦は豆より六斗九升多い、そして豆は五斗八升なり、米何程か。

(3) もめん一反四十五錢で十八反をかった。これを七圓五十錢でみなうた。そんとくいかか。

(4) かしやが、一斤二十四錢のかし三十二斤かひのちこれをうって一圓五十五錢もうけた。うったね

だんいくらか。

(5) 二石二斗の上酒と二石八斗五升の中酒とに水をませてみなで六石にした。水のかさ何程か。

一石八十斗

(6) つぎのしきをかんどーせよ。

$$20 \times 35 - 238 = \triangle$$

$$30 \times 28 - 352 = \triangle$$

$$50 \times 17 - 324 = \triangle$$

(7) 一とつ百二十三まいつつの本八さつある。まい日四枚つつよめば幾日かかるか。

(8) 布二十七反の長さは何尺か。

一反ハ一一丈八尺

(9) 六十一丈六尺は何反か。

(10) 米二升五合つつ三十五人にやつた。そして、まだ一斗五升のこつてある。はじめ米どれほどあつたか。

(11) つぎのしきをかんどーせよ

$$312 \times 3 + 13 = \triangle$$

$$324 \times 4 + 16 = \triangle$$

$$126 \times 7 + 42 = \triangle$$

(12) 五十錢ぎんか十五まいは二錢どーか何枚と同じあたひか。

(13) 一斤六十四錢の茶十二斤と三反の布とかへた。布一反のあた

ひ何程にあたるか。

(14) 人かす八百三、いへかす七十三、
いへ一つに人いく人のわりに
あたるか。

(15) 一俵五十五錢の炭三俵をかって、
三十五日間につかった。一日のつ
かった炭のねだん、いくらのわり
にあたるか。

算術教科書 兒童用 卷二 終

明治卅四年六月十六日印
同 卅四年六月二十日發
同 卅四年九月六日訂正再版印刷
同 卅四年九月九日發
印刷者 行 常算術教科書 兒童用
定價 卷一 金拾五錢
卷二 金拾五錢
卷三 金拾八錢

金港堂書籍株式會社編輯

發行所 金港堂書籍株式會社
東京市日本橋區本町
三丁目十七番地町

不許複製

代表者 右社長 原 亮一 郎
東京市下谷區龍泉寺町
四百十四番地町
發售所 各府縣下特約販賣所

